

東京都と同時発表

平成27年6月23日

京成押上線（京成曳舟駅付近）の下り線を 8月22日（土）から高架化します！

～京成曳舟駅が新下りホームで営業開始されます～

京成電鉄(本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生)では、平成27年8月21日(金)の下り線最終電車後、押上駅から八広駅間の下り線の高架切替工事を行い、翌22日(土)の始発電車から下り新線(高架橋)の使用を開始するとともに、京成曳舟駅が新下りホームにて営業を開始します。(荒天等の場合には、8月22(土)に切替工事、翌23日(日)からの営業開始となります。)



下り線ホームが高架化される京成曳舟駅

京成押上線(押上駅～八広駅間)連続立体交差事業は、東京都、墨田区及び当社の3者にて事業を施行し、平成20年8月より工事着工、平成25年8月には上り線を高架化したしましたが、今回下り線高架橋部分の工事が完了したことから、下り線の高架切替を実施するものです。今回の下り線の切替により、上下線が高架化され押上駅から八広駅間の6か所の踏切が無くなり、踏切による交通渋滞が完全に解消され、鉄道の安全安定輸送が向上いたします。また、京成曳舟駅は上り線と同様に下り線につきましても3階がホーム、2階が改札口になります。下り線の高架切替後においては、引き続き、駅舎の残工事および仮下り線の撤去工事を行い、平成28年度末に事業完了の見込みです。京成押上線(押上駅～八広駅間)連続立体交差事業の概要は次項のとおりです。

京成押上線(押上駅～八広駅間)連続立体交差事業について

記

1. 京成押上線(押上駅～八広駅間)連続立体交差事業の概要

- (1) 事業延長 約1.5km
- (2) 事業内容 押上駅～八広駅間(京成曳舟駅)高架化
除却踏切数 8箇所(除去済みの踏切2か所を含む)
関連側道整備
- (3) 事業期間 平成12年度～平成28年度(予定)
- (4) 概算事業費 約336億円(予定)
- (5) 事業主体 東京都
- (6) 事業の施行 東京都、墨田区、京成電鉄株式会社

2. 下り線の高架切替工事について

- (1) 実施日時 平成27年8月21日(金) 下り線最終電車後
※22日(土)の始発電車から下り新線(高架橋)での運行を開始
※荒天等の場合は翌22日(土)下り線最終電車後に切替工事を延期
- (2) 工事延長 約1.5km
- (3) 工事内容 ①下り線を下り新線(高架橋)に切替
②軌道・電車線・信号・通信関係設備の切替(架線の張り替え等)など

3. 下り線の高架切替後の京成曳舟駅について

- (1) 供用開始日 平成27年8月22日(土)
※切替工事が22日(土)に延期された場合は、23日(日)に変更します。
- (2) 主要施設(京成曳舟駅)
 - ① 8両編成対応高架化ホーム(上下線)
 - ② 1階地上から2階改札口を結ぶエレベーター1基、エスカレーター1基
2階改札口から3階下りホームを結ぶエレベーター1基、エスカレーター1基
2階改札口から3階上りホームを結ぶエレベーター1基、エスカレーター2基
 ※詳細については、今後、当社ホームページ、駅貼りポスター及び車内吊りポスターでお知らせしてまいります。

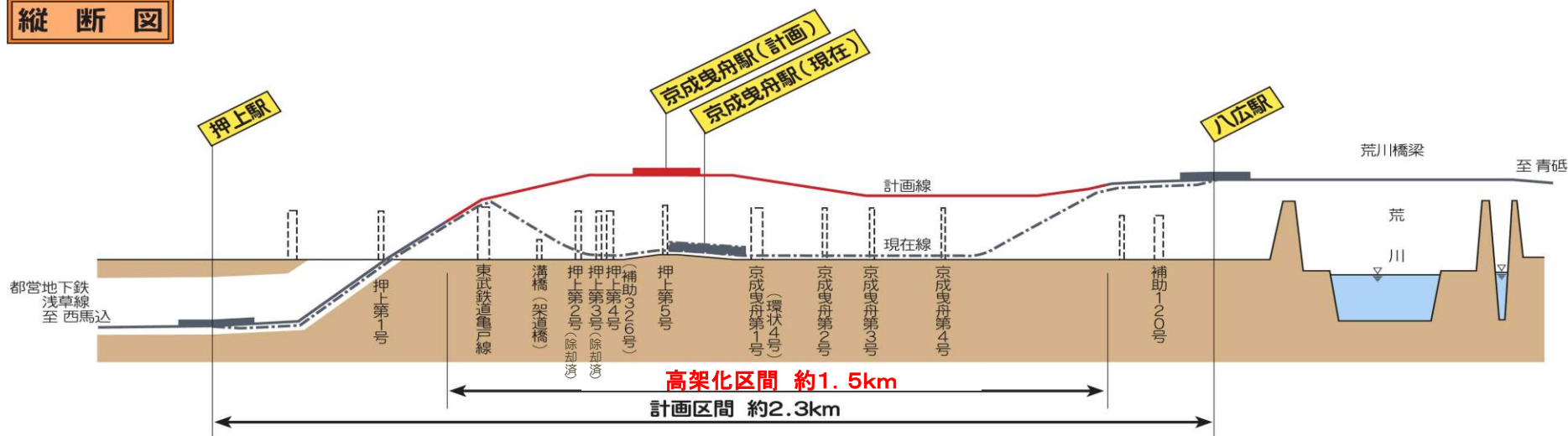
以上

京成電鉄押上線(押上駅～八広駅間)連続立体交差事業 概要図

平面図



縦断図

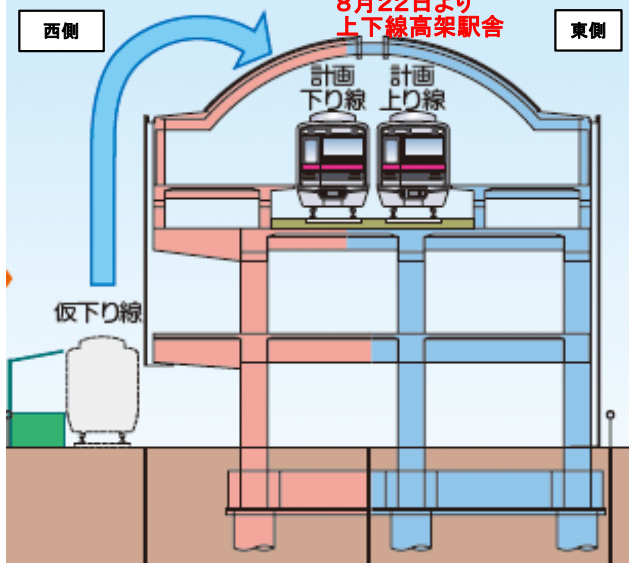


～今回切替え概要(イメージ)～

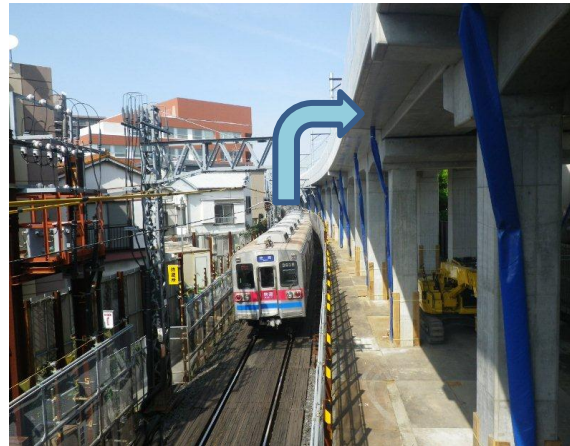
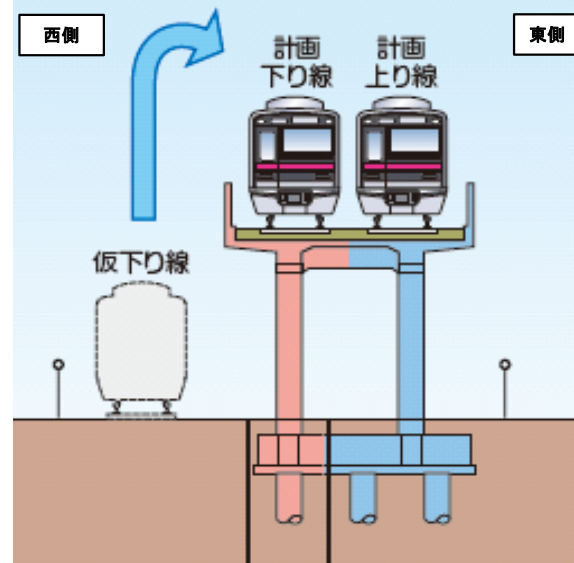
京成曳舟駅部

京成曳舟駅の青砥方面行きホームが新たに高架化されます

8月22日より
上下線高架駅舎



高架橋部



盛土部

